

日本写真印刷株式会社  
「2016年3月期第3四半期決算説明会・カンファレンス」  
質疑応答の概要  
(2016年2月9日開催)

- Q1. 産業資材事業の自動車向けが、第3四半期は前四半期比（第2四半期比）で減収となった要因は？  
A1. 季節的な要因であり、自動車向けが堅調に推移しているトレンドに大きな変化が生じているものではない。
- Q2. 産業資材事業の第3四半期、第4四半期の既存事業の売上高は？  
A2. 2015年8月に買収・子会社化したAR Metallizingの業績が第3四半期には1カ月分、第4四半期には3カ月分連結される。これを除いた既存事業の売上高は、第3四半期は約80億円、第4四半期はこれをやや上回る水準となる想定。
- Q3. デバイス事業の第3四半期の実績について、用途別の概況を教えてください。  
A3. 前四半期比（第2四半期比）で、スマートフォン・タブレット端末向けの需要が伸長した一方、ゲーム機その他向けの需要が減少した。
- Q4. 情報コミュニケーション事業が第3四半期に黒字化した理由は？  
A4. 増収効果に加えて、2015年7月の分社化後、コスト削減の取り組みにドライブをかけたため。

以上